

大阪大学蛋白質研究所セミナー
～抗体創薬の最前線～

「バイオ医薬品開発の鍵となる分子設計技術」

平成28年11月1日(火)

九州大学病院キャンパス・コラボステーション1 視聴覚室
JR博多駅から福岡市地下鉄で馬出九大病院前下車(20分)徒歩5分
または 福岡空港からタクシーで20分

開会の辞(13:00-13:05)

津本 浩平(東大・院工)

セッション1 13:05-14:45

座長 津本浩平(東大・院工)

13:05 新規抗体薬物複合体(ADC)の技術開発

阿部有生(第一三共(株)・バイオ・癌免疫療法部)

13:50 NGS 網羅的配列解析による機能的 VHH 抗体の単離同定と革新的バイオ医薬品創製への応用

伊東祐二(鹿大・院理工)

14:20 痛み受容体 P2X4 細胞外ドメイン抗原の調製および抗体作成

阿部義人(九大・薬)

14:45 - 休憩 -

セッション2 15:00-17:10

座長 前仲勝実(北大・院薬)

15:00 二重特異性抗体技術を用いた抗体創薬

井川智之(中外製薬(株)・研究本部)

15:45 抗体医薬品の分子設計への応用を目指した Fc-Fc γ R 相互作用解析

木吉真人(国衛研)

16:15 リウマトイド因子(IgM 抗体)の分子認識メカニズムに関する構造基盤

白石充典(九大・院薬)

16:40 抗体医薬の質量分析による理解

内山 進(阪大・院工)

17:10 - 休憩 -

セッション3 17:25-18:50

座長 植田 正(九大・院薬)

17:25 低分子化合物を認識する高機能性小型抗体の開発：一本鎖抗体の実用化を目指して

森岡弘志(熊大・院薬)

17:55 抗体医薬アダリムマブ及びリツキシマブ Fab の酵母による発現と物性評価

大栗誉敏(崇城大・薬)

18:20 Fv-clasp 化抗体の結晶化シャペロンとしての有用性

高木淳一(阪大・蛋白研)

総括(18:50-18:55)

高木淳一(阪大・蛋白研)

～懇親会～(19:00-20:00)九州大学病院キャンパス生協食堂

【世話人】津本浩平(東京大学・院工)、植田 正(九州大学・院薬)、高木淳一(大阪大学・蛋白研)

◎ セミナー事務局 565-0871 大阪府吹田市山田丘3-2 大阪大学蛋白質研究所分子創製学研究室 境 美絵
e-mail: m-sakai@protein.osaka-u.ac.jp

参加要領：参加費無料、事前登録不要、懇親会参加歓迎